

市立中学校生徒会役員と市長との懇談会

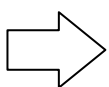
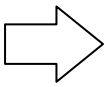
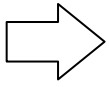
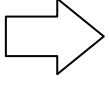
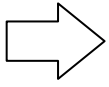
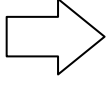
日 時 平成22年2月1日（月）午後3時30分～午後4時40分
場 所 昭島市役所 庁議室

1 懇談会の趣旨

第五次総合基本計画の策定に際し、中学生の意見を将来の市のまちづくりに生かすため。

テーマ：「人間尊重・環境との共生」

2 中学生からの提案

<p>環境フェスタに参加し“昭島の豊かな水”の認識を新たにしました。</p>		<p>子どもたちにも、水の大切さを教えていく。</p>
<p>地球温暖化防止運動に協力できるように働きかけをする。</p>		<p>①こまめな消灯と設定温度調整のよびかけ ②自転車や公共交通機関の使用促進のよびかけ ③家庭ごみの排出量抑制のよびかけ ④各教室に二酸化炭素吸収量が多い多肉植物やシクラメンを配置。</p>
<p>地球環境に関心があるが、ごみの分別方法など、それに対する知識があまりない。</p>		<p>環境問題を知り、昭島市全体で取り組めるまちづくりを提案したい。</p>
<p>地域清掃している周りではポイ捨てがされていない。</p>		<p>助成金を支出し、地域清掃する人・場所・機会を増やす</p>
<p>ヒートアイランド現象の悪循環を抑制する。(緑や遊び場が少ない。)</p>		<p>大きな芝生のある公園を造る。(小さな子どもは安心して遊べ、中学生はスポーツができる。)</p>
<p>昭島市は自然豊かな場所だが、ポイ捨てされたゴミが目立つ</p>		<p>ポスターを貼ったり、積極的に環境を汚さない工夫をしてほしい。</p>

4 懇談

【市長の話】

吸い殻のポイ捨て問題は、清掃中の傍らにはポイ捨てしないとの話もあったが、罰則で取り締まるのではなく、地道な啓蒙活動で、捨てにくい環境を作ることも大事です。

自助・共助・公助の話をしたが、生徒会活動はもちろん、地域活動等にも参加し、地道な努力・実践活動を続けることで、周りの生徒や市民に良い影響を与えてほしい。

【教育長の話】

挨拶を大切に、きれいなまちにしたい気持ちがヒシヒシと伝わり、非常にうれしい。

【企画部長の話】

人間尊重と環境との共生は、今後も大切な理念であり、意見を参考に計画を作りたい。

皆さんの頑張りを見て、周りの生徒が頑張りますので、引き続き頑張ってください。

【市長の話】

第四次計画の将来都市像は「人 まち 緑の共生都市あきしま」で、その中では「触れ合い、支えあい、学びあい、守りあい、築きあい」の5つのキーワードでまちづくりを進めていくことを謳っているが、このことは「人間尊重」の精神にも繋がる。

米の漢字は「八」、「十」、「八」と書く。88の手間をかけてできた「一粒のコメや食べ物を大切にする。」感謝の心を大切にするとともに、料理でもスポーツでも、1つのことに一生懸命取り組んでもらいたい。一生懸命に取り組むためには創造性や努力が必要で、勉強にもなるし、一緒になってやれば良い友達もできる。

生徒会の役員として、中心になってやってきたことは、良い社会勉強として、将来の皆さんの立派な成長に大きな力となって生きると思えます。期待しています。

5 木戸教育長のことば

努力は絶対にあなたたちを裏切りませんので、今日のことを忘れずに、努力に努力を重ねて、立派な成長を遂げていただきたいと思います。